

1 PLAN(目的・概要)

建設整備事業

政策名	安全	25年度事業・施策評価結果			責任者	建設部 工事課長
施策名	港の安全性・信頼性の向上	成果	コスト		施設工事担当課長	
事務事業名	中川口通船門の地震・津波対策	継続	維持	維持	連絡先 052-654-7937	
目的	対象(誰・何を) 意図(どうい う状態にしたいか)	中川口通航水門 耐震補強を行い、地震・津波に対する安全性を向上します。			事業 期間	平成25～29年度
概要	中川口防潮水門の地震・津波対策として、門扉の補強工事や、既設の躯体について、耐震補強工事を行います。				根拠 法令等	
事業着手時点の 評価	補強対策を行うことにより、機能の強化に併せて住民及び企業の生命・財産を守ります。				実施 義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
26年度の実施予定	門扉補強工事及び躯体補強設計を行う予定です。				関連 シート	

2 DO(実施)

26年度に実施した 内容・結果	門扉補強工事及び躯体補強設計を完了しました。					
コスト	単位	24年度	25年度	26年度	合計(25年度～)	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円		91,140	159,552	250,692	
人件費	千円		5,694	3,347	9,041	
合計	千円		96,834	162,899	259,733	

3 CHECK(検証)

指標名		24年度	25年度	26年度	最終目標	29	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
既設躯体への耐震補強 工事完了までの進捗状 況(全4工程)	目標		-	2	4(累計)		既存の躯体への耐震補強工事の進捗状況 ①耐震性の検証②設計③工事着手④工事完了	
	実績		1	2				
(進管理型)	事業進捗状況(26年度)			順調	やや遅れ・遅れ			
指標名		24年度	25年度	26年度	最終目標	26	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
門扉補強工事の事 業進捗率(%)	目標		-	100.0	100(累計)		事業進捗率(目標・実績)は、出来高割合で す。	
	実績		38.9	100.0				
(進管理型)	事業進捗状況(26年度)			順調	やや遅れ・遅れ			
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	門扉補強工事は目標通り、完了しました。また、既設躯体への耐震補強工事についても、順調に進捗しております。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	事業着手時に比べ必要性が低下していないか?	<input type="radio"/>	地震・津波対策は、背後地域の生命・財産を守るため必要な事業であり、防災上のニーズも高いと考えております。					
	事業費規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	<input type="radio"/>						
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	<input type="radio"/>	耐震補強を行い、地震・津波に対する安全性を向上することは、上位施策である「港の安全性・信頼性の向上」に貢献すると考えております。					
	期待どおりの成果が得られているか?	<input type="radio"/>	門扉の補強が完了したことにより、津波に対する安全性が向上しました。					
効率性	最小のコストとなっているか?	<input type="radio"/>	必要最小限のコストで取り組んでいます。					

4 ACTION(取組)

施策評価結果	27年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	維持	維持	・港の安全性の向上に必要不可欠の事業であり、継続的に事業を進めていく必要があるため。
課題			
背後地の安全性の向上には必要不可欠な事業であり、継続的に事業を進めていく必要があります。			引き続き、既設の躯体について、耐震補強工事を進めていきます。